



8月
4日

夏休み考古学教室



**むかしの灯り
和ろうそくを
手作りしたよ**
 埋蔵文化財センターで、夏休み考古学教室「ろうそく作り」が行われ、12人が参加しました。
 参加した子どもたちは、竹串に和紙を巻き付けて芯を作り、溶けたろうを木型に入れて昔ながらの和ろうそくを作りました。参加者らは慣れない作業に苦心しながら、完成したろうそくに絵の具で絵を描くなどして自分だけの作品に仕上げていました。

7月
31日

鮎寿司本漬け体験



**南湖で取れた
鮎を山産の
米で漬ける**
 速野学区まちづくり協議会が主催し、速野会館で行われました。
 講師の守山鮎ずしの会員の参加者は、南湖で取れた鮎に守山産の米を工夫からつめていき、重ならないようにおけに入れ、米で層を作っていました。
 この日漬けた鮎は、年末ごろに漬けあがり、鮎寿司として参加者に配られます。

8月
7日

エルセンター子ども体験教室



**光の進み方や
超低温の世界で
科学を楽しむ**
 エルセンターで開催され、児童17人が参加しました。1部では光の進み方を学んで、偏光板と身近なセロテープや紙コップなどを使った自分だけの万華鏡を作りました。
 2部では超低温のバラの花や、スーパーボールがどう変化するかを学ぶ科学ショーを観賞。目の前で繰り広げられる超低温の世界に、科学の面白さを満喫していました。

8月
5日～

もりやまフルーツランド



**ナシとブドウ
一足早い
秋の味覚を直売**
 もりやまフルーツランドで、今年もナシとブドウの直売が行われています。
 ナシは八里と筑水、ブドウはヒムロッド、シードレスなどを手始めに、甘くて瑞々しい品種が直売所に並び、訪れた買い物客らが次々とお目当てのナシやブドウを買い求め、「おはあちゃん甘くておいしいナシとブドウを待ちかねていたの、早速買いにきました」と話していました。



守山市の人口

令和3年7月31日現在
 (前月比)

人口	84,721 (+ 43)
男	41,722 (+ 6)
女	42,999 (+ 37)
世帯数	33,716 (+ 30)



双眼鏡

暑い夏も終わりが近づいている。年を取って暑い夏が苦手になった。少し歩いただけで体中汗だくなり、夜は首筋に噴き出す汗で寝苦しい日が続き寝不足となる。だけれど、子どものころは夏が大好きだった▼夏の楽しい思い出はいっぱいある。勉強嫌いだっただの私の一番の楽しみは長い夏休みだ。プール遊びに盆踊り、地藏盆にも参加した。そして、当時市内で行われていた花火大会で夜空に咲く大輪の花を見上げた。そんな思い出があるから、今でも打ち上げ花火の音を聞く胸が熱くなってくる▼残念ながら昨年に続いて今年もコロナの関係で花火大会や夏祭りイベントなどの多くが中止になった。県内でも多くのコロナ感染者が出て「まん延防止宣言」が出た。暑い夏とともにコロナ禍も終わることを願って、もう一度初心に戻ってコロナ予防対策をしよう。